

2012年7月19日

第3回TIA-nano公開シンポジウム



# TIA-nano知財戦略が目指す 方向性

つくばイノベーションアリーナ 知的財産WG

委員長 間中 耕治

(産業技術総合研究所 イノベーション推進本部  
知的財産部長)

1. TIA-nano中期計画とこれまでの活動
2. 2012年度の活動予定と方向性

1. TIA-nano中期計画とこれまでの活動
2. 2012年度の活動予定と方向性

## ものづくりの強みを補強する要素

- 各研究コアや各技術研究組合で最適化された知財システムを維持しつつ、TIA-nano全体でさらに相乗効果をもたらす知財システムを構築すること
- 魅力ある無形知識資産を蓄積し、それを有効に活用できる知財システムに求心力を持たせる戦略を実施すること

## 1. オープン&フレキシブル

- ・オープンイノベーションの着実な推進とフレキシブルな知財システムの両立
- ・各技術研究組合等の既存のルールからスタートし、各研究コア及びTIA-nano全体で最適解を検討

## 2. インテグレーション&パッケージング

- ・TIA研究プログラムで生まれた知財情報を蓄積する仕組み
- ・個々の知財を組み合わせてパッケージ化していく仕組み

## 3. サステイナブル&インセンティブ

- ・参加企業からの資金提供による自立、好循環
- ・TIA-nanoへの積極的な参加・知財蓄積を促すインセンティブの構築

# 中期計画期間(2010～2014FY)の目標



TIA-nanoにおける産総研、物材機構、筑波大学、高エネ研の研究成果に係る知的財産(TIA知財)に関し、以下の仕組みを四機関の間で構築することを目指す

- ①TIA知財の情報を一元化する仕組み
- ②一元化したTIA知財の情報を効果的に発信する仕組み
- ③TIA知財に関する問い合わせ等の窓口の一元化(ワンストップ化)、及びTIA知財のライセンス活動等において四機関が連携する仕組み
- ④TIA-nanoの魅力向上に向けてTIA知財をインテグレーションする仕組み
- ⑤TIA知財を効果的に取り扱う仕組み(四機関のTIA知財を取り扱うルール調和)

# 知財情報の一元的発信(TIA関連特許情報のホームページ)



**TIA nano** つくばイノベーションアリーナ  
Tsukuba Innovation Arena

JAPANESE ENGLISH

TIA-nanoは、中核機関のインフラを最大限に活かし、「組織を越えた研究開発の連携」を推進します。  
3中核機関(産総研、NIMS、筑波大)が、KEKの参画(2012.4.1)で4中核機関となりました。

トップページ・ニュース    つくばイノベーションアリーナとは    **コア研究領域・コアインフラ**    イベント情報  
拠点活用プロジェクト    TIA-nano紹介著作    **TIA関連特許情報**    お問い合わせ

HOME > TIA関連特許情報

## ■ TIA 関連特許情報 Patents

ここでは、TIA-nanoの研究ポテンシャルのPRの一環として、TIA関連特許※の情報を掲載していきます。  
TIA-nanoには六つのコア研究領域があり、TIA関連特許情報が整理できた分、順次掲載していく予定です。

※用語の説明

<b>TIA知財</b>	TIA-nanoの運営の中核を担う公的研究機関(中核3機関:産総研、物材機構、筑波大)の研究成果に係る知的財産
<b>バックグラウンドIP(BGIP)</b>	TIA知財に関連した中核3機関の既存特許
<b>TIA関連特許</b>	TIA知財とBGIPをあわせたもの

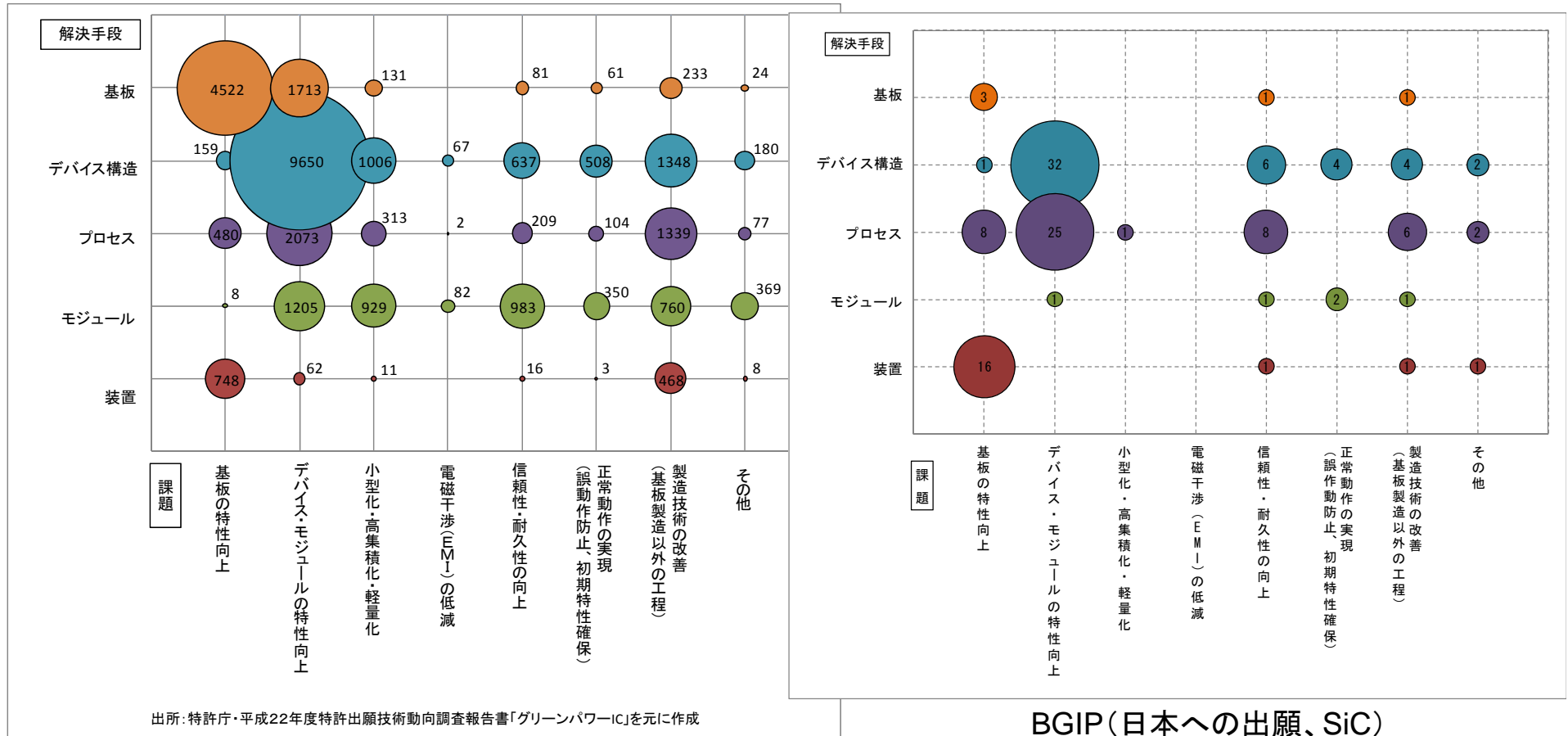
■ **パワーエレクトロニクスコア研究領域の特許情報について**

パワーエレクトロニクスコア研究領域の特許情報

第1弾はパワエレ  
について整理

# 知財情報の一元的発信

## 例：特許マップ（パワーエレクトロニクス研究コアの全体動向とBGIP）



全体動向 (日米欧中韓への出願、SiC, GaN, Si, ダイヤモンド etc.)  
 (特許庁の技術動向調査報告書「グリーンパワーIC」による)



1. TIA-nano中期計画とこれまでの活動
- 2. 2012年度の活動予定と方向性**

## (一元的知財情報の発信の拡充)

- BGIPの整理をパワエレ以外の研究コアへ展開
- CNTの研究コアについても、TIA知財情報のコンテンツを作成し、情報発信を拡張・充実

## (TIA-nano知財戦略と知財の取扱いルールを検討)

- 知財戦略について、拠点活用プロジェクト調査の結果を踏まえた研究コアと意見交換を行い、研究コアの知財戦略・標準化戦略を整理
- 意見交換の結果を踏まえつつ、TIA知財として中核4機関に蓄積すべき知財の検討や、中核4機関の知財の取扱いの調和に向けた検討を実施

## (検討体制)

- 知財WG、知財担当者連絡会(中核4機関)の場を活用

## 拠点活用プロジェクト調査の仮説

### (仮説1)

○プロジェクトリーダー(PL)及び参加企業は、拠点活用プロジェクトとしての知的財産戦略を明確に構築できていない(共有に至っていない。)

### (仮説2)

○PL及び参加企業は、中核機関及び参加企業が既に保有する知的財産権(BGIP)の存在を把握できていない(BGIPの活用を考慮していない。)

### (仮説3)

○PL及び参加企業は、拠点活用プロジェクト内で創出された他者の知的財産権の利用を考慮していない(他者の知的財産権の利用に抵抗がある)。

## 拠点活用プロジェクト調査の仮説

### (仮説4)

○PL及び参加企業は、標準化や研究成果のパブリックドメイン化による研究成果の普及促進・競争力強化について、考慮できていない。

### (仮説5)

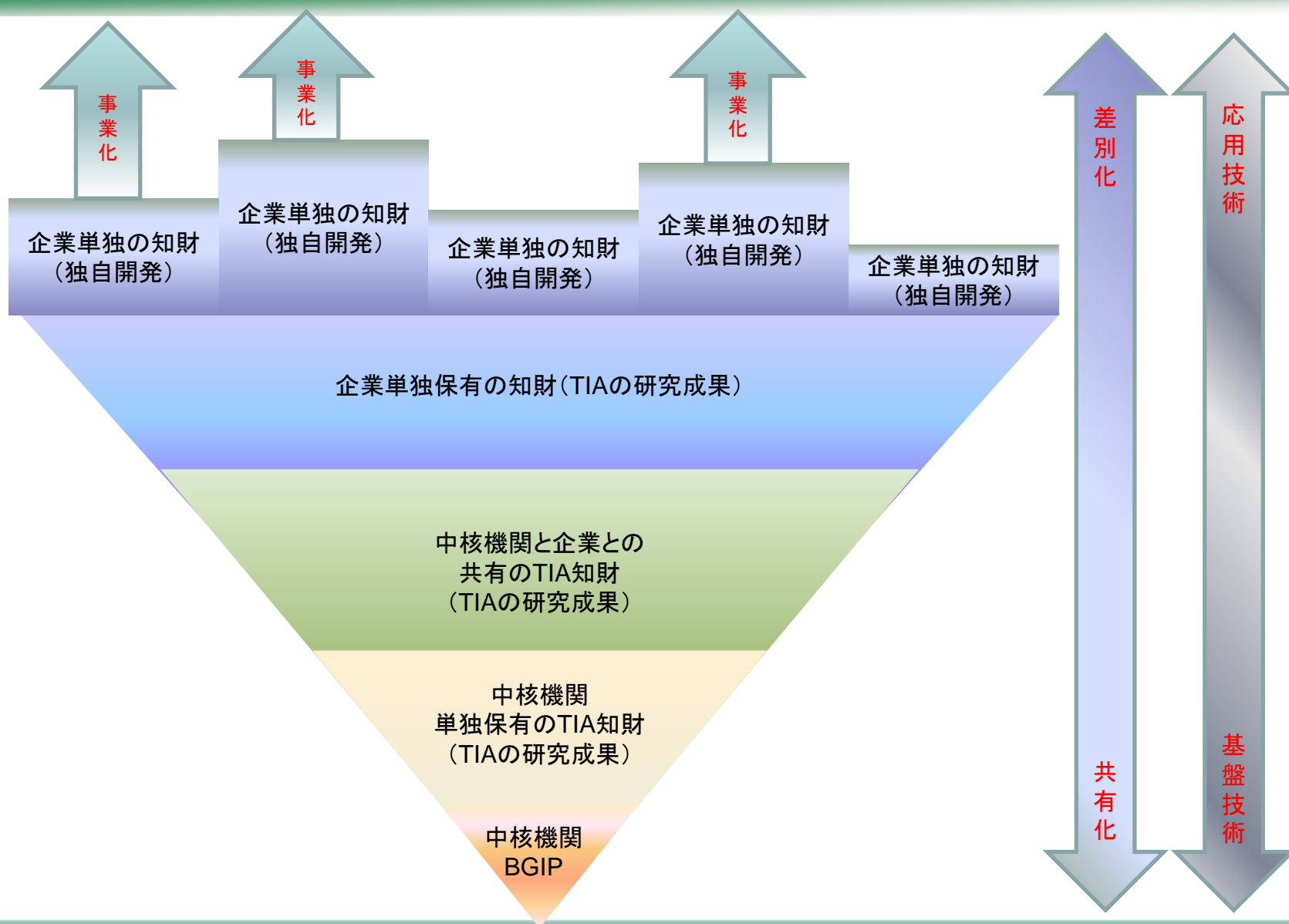
○PL及び参加企業は、拠点活用プロジェクトにおける知的財産権管理の必要性を認識しているが適切な知財人材が確保できていない。

## 『知的財産戦略』

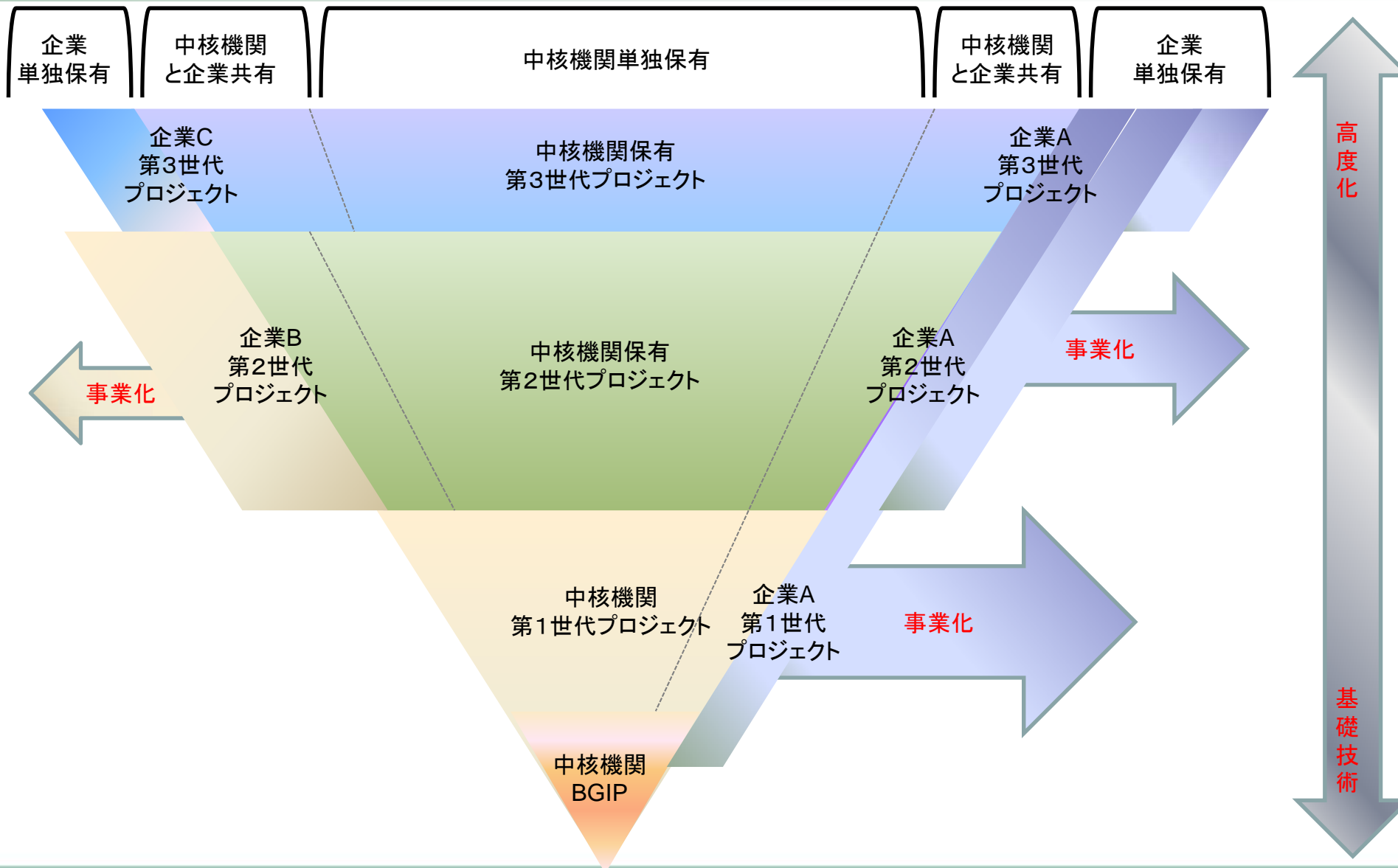
「戦略目標を達成」するために…

- ・「どのような技術」を
- ・「誰が(中核機関 or 参加企業etc)」
- ・「どこから(BGIP or 研究成果の知財化etc)」
- ・「どのような知的財産権(特許 or ノウハウ or プログラム etc)」  
として取得(蓄積)し
- ・取得(蓄積)した知的財産権を  
「どのように活用(クローズ or オープン(共有) or 標準化etc)」

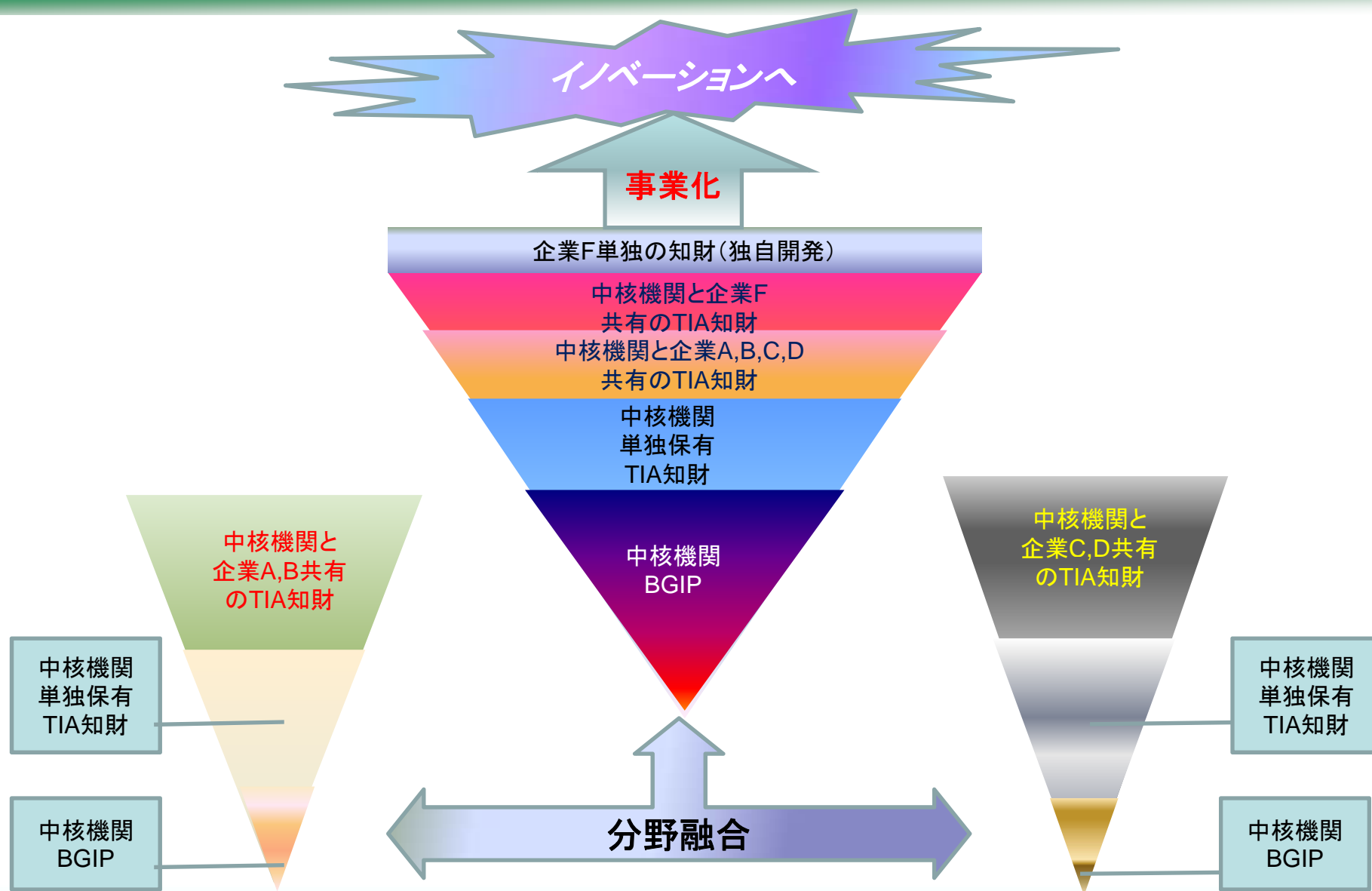
# 知的財産権の蓄積イメージ(1)



# 知的財産権の蓄積イメージ(2)

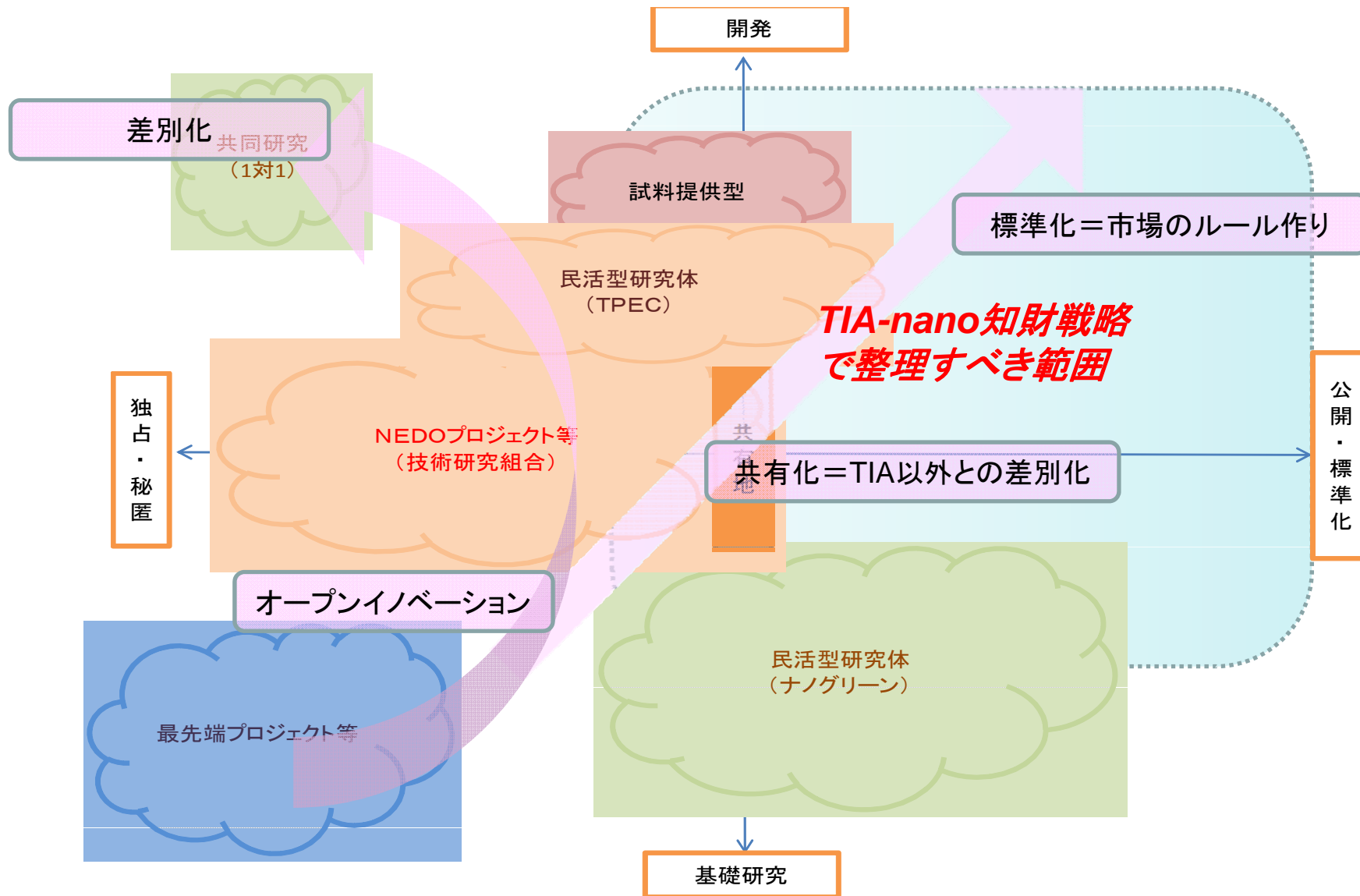


# 分野融合によるイノベーションの誘起





# TIA-nano知財戦略の方向性



ご静聴ありがとうございました。